

2024年度とうきょうすくわくプログラム推進事業自己評価報告書

2025年5月25日

宗教法人泉バプテスト教会附属 いづみ幼稚園

1 本園の教育目標

自（じ）	自由と自治	子どもたちの自由と子どもたちによる自治を大切に
然（ねん）	自然に対する神の然り	子どもたちと被造世界の多様性を大切に

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- | | | |
|---|-------|---------------------------|
| 1 | アウトドア | 山登り、雪遊び等自然に親しむ園外保育 |
| 2 | カプラ | 積み木を使って創造力や集中力、忍耐力を育む |
| 3 | 絵本 | 豊富な蔵書と読み聞かせにより豊かな心を育む |
| 4 | クリスマス | クリスマス前一か月の視聴覚教材を用いての保育の充実 |
| 5 | 相撲 | 礼儀作法や勝負を通して気持ちの制御を学ぶ |

3 評価項目の達成及び取り組み報告

	評価項目	評価	取り組み報告
1	アウトドア 2024年5月-2025年2月	A	日頃から世田谷公園や駒繫公園、子どもの広場公園、野沢公園、鶴が久保公園、東山公園など様々な公園に足を運び、仲間と共に長距離を歩くことに親しんだ。公共交通機関を利用した園外保育としては、6月12-14日名栗キャンプ場宿泊（年長組）、10月11日高尾山登山（年中組）、11月8日高尾山登山（年長組）、10月25日全クラス散歩、2025年2月8-9日新潟県にて雪とふれあう宿泊保育（年長組）などが挙げられる。以上、5月24日に行われた親子遠足以外の園外保育には保護者は同行せず、教職員と子どもたちのみで過ごし、子どもたちの自律心を大いに育むことができたと考えている。また、登山や名栗キャンプ場宿泊ではアウトドア専門のスタッフに同行を依頼し、その土地で暮らす動物や植物についての知識も深めることができた。子どもを見る大人が増えたこともあり、より安全な園外保育を実施することができたと言え

			<p>る。</p> <p>なお公共交通機関を用いないものの、7月2・4・5・10・11日世田谷公園プール保育、9月5・10・12・19・24日運動会準備保育と9月28日運動会も、当園の特徴あるアウトドア園外保育である。</p>
2	<p>カプラ</p> <p>2024年4月-2025年3月</p>	A	<p>日頃から「カプラブロック」という積み木を使って遊び、創造力や集中力、忍耐力を育んだ。また仲間と協力して1つの作品をつくり上げることで、コミュニケーションの楽しさ、協調性を学ぶことができた。5月15日にはインストラクターを招き、年長組親子を対象にワークショップを開催、普段の保育では作ることが難しい大掛かりな作品を完成させることができた。保護者は、作品を作り上げる過程で、自分の子どもだけでなく他の家庭の子供とも関わり成長を見守ることができた。当園で日頃から大切にしている“みんなでみんなを育てる”ことが実現されたと言える。</p> <p>なお、11月8日は年長組、12月4日は年中組とクラスごとにもカプラに集中するカリキュラムを組んだ。預かり保育などでも学年を超えたカプラ遊びが展開されている。</p>
3	<p>絵本</p> <p>2024年4月-2025年3月</p>	A	<p>各クラスで1日に2-3冊の絵本を教師が朗読し、時には園外保育先にも絵本を持ち出して自然の中で朗読するなど読む環境にも工夫を取り入れた。絵本の部屋には2000冊ほどの蔵書があり、子どもたちの想像力や他者を思いやる心を育む。こどものとも社より絵本を新規購入、また古くなった絵本を再度購入し入れ替えた。クリスマスや学期末には子どもたちにプレゼントするための絵本も購入した。こどものとも社の職員を招き、保護者向けに読み聞かせの大切さについての講演を実施した。</p>
4	<p>クリスマス</p>	A	<p>クリスマス（12月14日）までの4週間、毎週礼拝（11月22日、11月29日、12月6日）を</p>

	2024年11-12月		実施してクリスマス当日を待ち望んだ。モミの木や松の枝が香るリースやクランツを飾ったり、キャンドルに炎を灯したりして、五感を用いてクリスマスの意義を体得し、イエス・キリストの誕生を祝った。各クラスでページェント（キリスト誕生の様子を描いた劇）に向けて歌や台詞を練習、親子で手作りのプレゼントを用意し、贈り物を交換し合う喜びや楽しさを知った。
5	相撲 2024年11-12月	A	日本の伝統的な武道である相撲に親しむことで体幹を鍛えながら礼儀作法を身につけることができた。特に、勝っても負けても自分の感情を制御することを学んだ。 立浪部屋を訪問することで実際の力士に触れあうことができ、独特の文化を知った。本物の土俵で稽古し、ちゃんこ鍋を食べ、相撲甚句も聞くことができ、楽しい雰囲気を体験することができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

A	<p>全般的に当初の計画通りに事業を実施することができ、それぞれの目標に到達できたと考える。</p> <p>仲間と共に出かけた園外保育では、公共交通機関のルールも覚えながら五感を使って自然を満喫することができた。広いプールで水に親しむ全身運動を行うことができた。また運動会に向けても体を動かす喜びを仲間と分かち合うことができた。</p> <p>カプラブロックの制作では、一つの作品を作り上げる過程で集中力や創造力、協調性を体得することができた。</p> <p>絵本の朗読についても元々力を入れていた本園ではあるが、蔵書を増やし園外保育先で朗読するなどの工夫を続けたことから、子どもたちの興味や関心を広げることができた。</p> <p>クリスマスは生の木を用いたリースやクランツの匂いや美観から、イエス・キリストの生誕を鮮明に記念し待望することができた。</p> <p>実際の相撲部屋において貴重な体験をしながら、下半身を鍛え礼を学んだ。</p>
---	--

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園外活動における専門性の確保	アウトドアキャンプや山登りなどの行事について外部の専門業者への業務委託をすることで、より安全に過ごすことができ活動の幅も広がった。今後も継続する。
2	キリスト教主義保育の充実	イエス・キリストが子どもを真ん中・前面に据えたことに倣い、子ども自身の意思や発案をくみ取るように心がける。
3	日本の伝統文化に触れる機会の拡充	例年行っているもちつきに、立浪部屋の力士に参加してもらうことで、保育の中に相撲をさらに積極的に取り込む。